



ひまわり



専門分野をもつ看護師の紹介

当院では、患者・家族・地域に、より質の高い看護を提供できるよう専門分野をもつ看護師が院内外で組織横断的に活動しています。

認定看護管理者（日本看護協会認定）

認定看護管理者は、多様なニーズを持つ個人、家族および地域住民に対して、**質の高い組織的サービスを提供する看護管理者**です。自組織の課題を明らかにし、組織全体のサービス提供体制向上と地域組織間の連携を図ります。



看護部長
寺門 通子

認定看護師（日本看護協会認定）

認定看護師は、特定の分野において熟練した技術と知識を用いて、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

認定看護師の役割は、

- ①専門的な治療や看護が必要な患者・家族に対して最適な看護は何か、認定看護分野の専門知識に基づき判断し、**実践**する。
- ②他の看護師に対し、自らが手本となり専門知識や看護技術などを**指導**し、水準の高い看護を行えるように働きかける。
- ③看護の現場で直面する問題や疑問の**相談**に乗り、改善策を導き出せるよう認定看護分野の専門知識に基づき支援する。の3つです。

摂食嚥下障害

嚥下障害がある方、経管栄養や胃瘻（胃に直接栄養を入れる方法）から栄養摂取をしている方、加齢に伴いムセや飲み込みにくさを感じるようになった方々の安全で美味しい「食」への支援をしています。



関 友美



菅谷 陽子

脳卒中看護

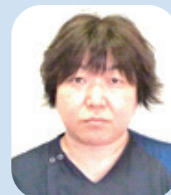
脳卒中はある日突然発症し、様々な障害を伴うことが多い病気です。出来るだけ後遺症を軽く、可能な限り早くもとの生活に復帰できるよう支援しています。



立原 美智子

皮膚・排泄

失禁などの排泄障害やストーマをもつ方へ社会的な環境やQOL（生活の質）を考慮した看護ケアを提供すること、褥瘡（床ずれ）の予防・早期治療促進のための支援をしています。



砂原 みどり

特定行為看護師（厚労省指定機関での研修修了者）

特定行為看護師は、在宅医療等の推進やチーム医療の促進および医師の負担軽減等を目的に、患者さんにとって、安全で安心な医療を提供できる質の高い知識と技術を身につけています。医師と連携しながら、あらかじめ指定された手順書に従って特定行為を実施できる看護師です。



創傷管理
近藤 久美子

呼吸器（長期）/ろう孔管理

菅谷 陽子・砂原みどり

血糖コントロールに係る薬剤投与

立原 美智子

栄養及び水分管理に係る薬剤投与

菅谷・立原・砂原

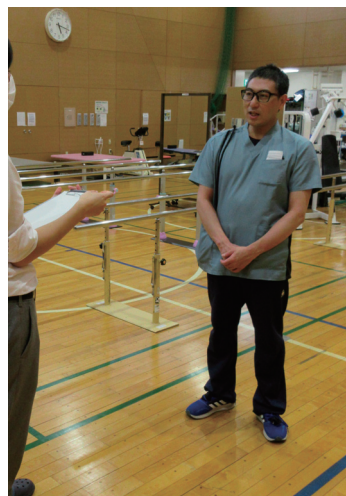
認定・専門療法士について

2023年2月現在、当院のリハビリテーション部には様々な認定資格を所持した療法士が在籍しています。

今回はこれらの療法士のうち、理学療法科所属の脊髄障害認定理学療法士・神経専門理学療法士の資格を持つ吉川憲一さんにお話をうかがいました。

Q：認定・専門理学療法士制度とはどのようなものなのでしょうか？

A：日本理学療法士協会が分野ごとに高い専門性を持つ全国の理学療法士を認定し、理学療法士の質向上を目指す制度を設けています。認定理学療法士は臨床実践分野に対する資格で専門理学療法士は研究等の学術的な指向性が高い資格です。



Q：認定・専門理学療法士としてどのような活動をおこなっていますか？

A：1年おきに開催している理学療法士講習会において認定資格取得者がどのような理学療法を実践しているかなどのセミナーを実施し、情報発信を行っています。また、認定資格取得者がそれぞれの専門分野の理学療法を新人療法士に指導教育して理学療法科全体の質向上を目指しています。

Q：理学療法科には何名の認定資格取得者がいるのでしょうか？

A：令和5年2月時点で延べ20名の認定資格取得者がいます。リハビリテーション部として、積極的に認定資格を取得することで患者さんに質の高い療法を提供すること、認定資格取得者が他の療法士に自らの知見を共有することで部全体の療法の底上げを図ることを目指しています。

Q：吉川さんの認定資格取得のきっかけを教えてください。

A：当院の患者さんに脊髄損傷の方が多かったことと、学生時代に師事していた先生が脊髄損傷患者への理学療法を専門としていたことがきっかけです。

Q：当院、地域に向けての取り組みの抱負を教えてください。

A：当院に入院する脊髄損傷患者さんが増えているため、軽症～重症の様々な脊髄損傷患者さまに療法を提供したいと考えています。今後はリハビリテーション部長の指導の下、リハビリテーション部全体でさらに専門性を高めていき、慢性・急性と幅広く、様々な患者へ最善の理学療法を提供し、地域で暮らす方々へ貢献していきたいです。

当院リハビリテーション部認定資格		
理学療法科		
専門理学療法士		管理教育
		生活環境
		神経
		基礎理学療法
認定理学療法士		地域
		発達
		神経
		介護予防
		脊髄損傷
		発達、補装具
		脳卒中
作業療法科		
	認定作業療法士	
言語療法臨床心理科		
	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士	

病院機能評価を受審しました

当院は「公益財団法人 日本医療機能評価機構」が実施する病院機能評価の認定病院です。病院機能評価とは、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、外部評価者が、病院組織全体の運営管理や病院で提供される医療について、5年ごとに病院を評価・審査するものです。審査の結果、一定の水準以上と認められた病院は「認定病院」となります。

令和5年1月に、認定の更新のため、5年ぶりに病院機能評価を受審しました。外部評価者の視点で病院を評価していただくことで、当院の医療の質の改善・向上を確認する良い機会となるため、認定更新に向けて、院内全職員が一丸となって準備に取り組んでまいりました。

当日は、外部評価者からの適切な助言や意見交換を通じて、県民の皆さまに良質の医療を提供するため、今後のさらなる医療の質の改善・向上に向けてなすべき課題を再確認できました。また、当院は回復期病棟だけではなく障害者病棟でも等しく、患者さんに必要なリハビリテーションを提供していますが、外部評価者の方に、こうした当院の特色もよくご理解いただけました。

病院機能評価の受審を通じて得た知見・経験を、患者さんや連携医療機関・関連機関の皆様に還元できるよう、今後とも努力してまいります。



病院機能評価の受審の様子

車いす等管理チーム会議について

車いす等管理チーム会議では、病院内にある車いすやバギーの管理、購入、廃棄について協議を行っています。

使用される方の体格や状態により適した車いすやバギーは様々です。本会議では、患者さんの多様なニーズに合わせた車いす等を提供できるよう、各部署の委員が意見を出し合い、必要な車いすの機種選定や購入を行っています。

また、車いすの整備不良や不適正な使用は、大きな事故につながる危険性があるため、本会議では、車いすの安全管理のための協議を行っています。各部署では、本会議の委員が中心となって、車いすの定期的な点検や現況確認、マニュアルの改訂を行い、安全な車いすの整備に努めています。

今後も、患者さんに安心して車いすをお使いいただけるよう活動してまいります。



茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、
安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、
患者さんが住み慣れた地域で、
安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

◆◆◆画像診断サービスのご案内◆◆◆

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL：029-888-9213

FAX：029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。

当院へのアクセス



●鉄道・バスをご利用の場合

- JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車
- 土浦駅（西口）からバスで約25分
「阿見中央公民館行」で、
「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分
- 荒川沖駅（東口）からバスで約25分
「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合

- 常磐自動車道「桜土浦IC」より約25分

～令和3年度診療実績～

- 延外来患者数 19,361人
(1日平均 80.00人)
- 延入院患者数 33,173人
- 新入院患者数 516人
- 退院患者数 512人
- 平均在院日数 63.54日



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>

